

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月15日

計画の名称	都市公園の長寿命化と安全・安心で快適なまちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和02年度 (4年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	沼津市												
計画の目標	都市公園における総合的な安全・安心対策業務を緊急かつ計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園施設を整備するため、公園施設長寿命化計画に基づき老朽化した公園施設について改築・更新を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	234	A	220	B	0	C	14	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	5.98	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	沼津市内の都市公園147公園(全151公園のうち、計画策定をしていない4公園を除いた公園)のうち、R3までに、公園施設長寿命化計画に基づく改築を行い、老朽化施設における老朽化対策率の割合を0%から100%にする。 老朽化対策率(%) 老朽化対策を行う施設数 / 計画期間内の全体老朽化施設数	0%	%	100%
2	策定済の公園施設長寿命化計画について、公園施設の健全度等の見直しを行い、結果を反映させた計画を策定する。(長寿命化計画策定済公園数 N=147公園) 長寿命化計画見直し率(%) 長寿命化計画の見直しが完了した公園数 / 長寿命化計画策定済公園数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	千本浜公園等100箇所における遊具等480施設の改築・更新	沼津市						199		策定済
	A12-002	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	147公園の長寿命化計画の見直し	沼津市						21		-
											小計						220		
											合計						220		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部審査会（各部長、まちづくり統括監で構成される審査体制）による評価を実施し、とりまとめた原案をもとに、沼津市公共事業評価監視委員会（有識者3名、公募委員2名による審査体制）による評価を実施。	令和4年12月
	公表の方法
	評価完了後、市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>指標：長寿命化計画に沿って、老朽化対策を進めてきた結果、多くの遊具の更新や公園設備の改築を行うことができた。</p> <p>指標：長寿命化計画を実行するにあたり、予算額や資材等の入荷状況や物価の変動、また、施工状況等に合わせて予定通り行うことが困難な場合があるが、それらを適宜見直すことによりより実効性の高い計画を策定することができた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	「沼津市公園施設長寿命化計画」に基づき、施設の予防的保全管理を推進し、安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減に向け、積極的に取り組むことができている。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 沼津市公園施設長寿命化計画に基づき、緊急性の高い施設を優先しながら、公園施設の更新や改築を進め、老朽化対策を図るとともにライフサイクルコストの縮減を図る。 時代が変化し、公園の利用方法も変化する中、公園施設について地元（利用者）と協議することでニーズを把握し、施設の統廃合に配慮しつつ長寿命化を図る。 新たな交付金制度に移行し、特定財源を活用することで必要な財源を確保し、事業の進捗を図る。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	長寿命化計画および社会資本総合整備計画の予算を照合し、遊具の更新や公園設備の改築を行ってきたが、国費の内示率の低さや資材価格の高騰などが影響し、予算内においてすべての遊具や設備を更新することができなかったことから、次期計画において引き続き老朽化対策を進めていく。
	最終実績値	57%	
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	